

令和 8 年 8 月 1 日

14 時 00 分 現在

九州運輸局災害対策本部

注) 朱書きは前回報告からの追加修正

熊本地方の地震にかかる九州運輸局の対応状況【第7報】

1. 対応体制等

(1) 九州運輸局の体制

7月28日(火) 16:28 非常体制

・九州運輸局災害対策本部の開催状況

7月28日 17:28 第1回本部、20:45 第2回本部

7月29日 8:45 第3回本部、13:40 第4回本部

7月30日 11:15 第5回本部

7月31日 16:15 第6回本部

8月1日 14:15 第7回本部

(2) リエゾン・現地本部要員の派遣

九州運輸局から熊本県庁へ3名を派遣(現地本部要員1名、リエゾン2名)

担当業務: 観光・2次避難先の確保関係(現地本部要員 1名)

緊急支援物資の物流関係(リエゾン 1名)

現地災害対策本部との連絡・補助(リエゾン 1名)

2. 所管事業施設の被害等の状況

(1) 鉄道関係

○脱線

JR貨物 八代駅7番線 留置車両6両(機関車1両、貨車5両)脱線・横転

死傷者なし 復旧作業検討中

○施設被害(現在までに判明した箇所であり、現在も詳細確認中)

＜新幹線＞

JR九州 ・九州新幹線

(熊本駅～鹿児島中央駅間)

構造物の変状 200箇所以上

〔防音壁落下、橋脚・橋桁変状、高架橋損傷等〕

軌道変状 約40箇所

〔レールゆがみ、継目部の破断、部材の損傷等〕

※被害状況確認中

〈在来線〉

JR 九州 ・ 鹿児島線

(熊本駅～宇土駅間)

軌道変状 1 箇所

※復旧作業中

(宇土駅～八代駅間)

架線断線 1 箇所、軌道変状 約 150 箇所

乗降場破損 5 箇所、電柱損傷 約 40 本

車両破損 (パンタグラフ) 2 編成

橋りょう変状 5 箇所、変圧器損傷 3 台

架線金具損傷 300 箇所超

※点検済み、復旧計画策定中

肥薩おれんじ鉄道 ・ 肥薩おれんじ鉄道線

(八代駅～川内駅間)

軌道変状 多数、乗降場破損 多数

架線断線 1 箇所

※被害状況確認中

○運転見合せ・再開の状況 (見込み含む)

〈新幹線〉

・ 運転を見合わせている路線：1 事業者 1 路線

JR 九州 ・ 九州新幹線 (熊本駅～鹿児島中央駅)

〔復旧には大幅な時間を要する見込み (8 月中の再開は困難)〕

※新水俣駅～鹿児島中央駅間については再開に向けて検討中

〈在来線〉

・ 運転を見合わせている路線：2 事業者 3 路線

JR 九州 ・ 鹿児島線 (熊本駅～八代駅)

〔熊本駅～宇土駅：8 月 2 日に運転再開予定〕

〔宇土駅～八代駅：復旧には大幅な時間を要する見込み
(8 月中の再開は困難)〕

・ 三角線 (宇土駅～三角駅)

〔8 月 2 日に運転再開予定〕

肥薩おれんじ鉄道 ・ 肥薩おれんじ鉄道線 (八代駅～川内駅)

〔一部区間は復旧に時間を要する見込み、被害の少ない南側の区間は部分的な再開に

向けて修復作業を実施予定]

(2) 自動車関係

○バス運行状況【高速バス】 7 事業者 18 路線 運休 (第 6 回報告から変更なし)

事業者名	路線 (方面) 名	被害状況
西日本鉄道	福岡～宮崎	運休
西日本鉄道	福岡～鹿児島	運休
JR 九州バス	福岡～宮崎	運休
JR 九州バス	新八代～宮崎	運休
JR 九州バス	福岡～鹿児島	運休
南国交通	福岡～鹿児島	運休
南国交通	熊本～鹿児島	運休
宮崎交通	福岡～宮崎	運休
宮崎交通	熊本～宮崎	運休
宮崎交通	新八代～宮崎	運休
宮崎交通	延岡～熊本	運休
九州産交バス	福岡～宮崎	運休
九州産交バス	熊本～宮崎	運休
九州産交バス	熊本～鹿児島	運休
産交バス	新八代～宮崎	運休
九州産交バス	熊本～高千穂・延岡	運休
鹿児島交通	福岡～鹿児島	運休
鹿児島交通	熊本～鹿児島	運休

※九州自動車道：松橋 IC～えびの IC で通行止め

○タクシー関係

人的被害：なし

物的被害：以下のとおり

(法人)

- ・建物被害 21 社 (うち、熊本県：20 社、福岡県 1 社)
- ・車両損害 8 社 10 両 (修理可能：10 両、修理不能：0 両)
- ・営業不可 4 社 92 両 (八代交通圏)
- ・縮小営業 2 社 18 両 (宇城市) ※乗務員宅被災のため、稼働車両を縮小

(個人)

- ・建物被害 2 社 (うち、熊本県：2 社)

○トラック関係

- ・熊本県トラック協会 (以下「県ト協」という) 会員被害状況 (7 月 31 日現在)

人的被害 4 事業所・6 名怪我

施設被害 営業所等全壊 1 事業所

営業所等一部損壊 19 事業所

車両被害 1 事業所

- ・緊急物資輸送関係対応のため、自動車交通部の貨物課長を本日現地に派遣。

○自動車整備事業関係

- ・熊本県内の自動車整備工場

人的被害 1 名

施設被害 19 件（リフトからの車両の脱落、シャッター等の損傷等）

事業継続支障 1 件（シャッターの損傷）

（3）倉庫関係

○倉庫業関係

施設被害（計 36 事業者 第 6 回報告から宇城八代地区+8 鹿本菊池地区+4）

- ・宇城八代地区：15 事業者（荷崩れ・ラック破損、壁・ドア破損）
- ・熊本地区：12 事業者（荷崩れ・ラック破損、天井・壁等破損）
- ・上益城地区：2 事業者（荷崩れ・ラック破損、天井・壁等破損）
- ・天草地区：2 事業者（荷崩れ）
- ・鹿本菊池地区：5 事業者（荷崩れ・ラック破損）

なお、人的被害はなし。

（4）海事関係

○造船所関係 熊本県内全 15 事業者

人的被害：なし

施設被害：あり 4 事業者（熊本県） 事業再開 2 事業者

- ・施設被害状況を調査中、工場内の道路にもダメージがあり、復旧には 1 週間程度かかる見込み
- ・従業員の人的被害はないが、自宅が被災している従業員が多数
- ・断水発生のため一時休業

○舶用工業関係 熊本県内 17 事業者（被害なし 16）

人的被害：あり 1 事業者

- ・軽い打撲の従業員が複数名

施設被害：あり 1 事業者（熊本県）

- ・工場建屋が立ち入り禁止になっているため確認できない状況。8 月 17 日まで稼働停止。
- ・工場は、ガス・水道が不通、電話・電気は利用可、敷地内の地盤が液状化あり

○港湾運送関係 （第 6 報から変更なし）

<八代港> 6 事業者

人的被害：なし 6 事業者

施設被害：あり 6 事業者

- ・倉庫内の貨物が一部倒壊
- ・エプロンから1～2m程度の範囲で30cmの段差が生じており、ストラドルキヤリアが近くに行けない状態。
- ・ガントリークレーンは動かしていないので状況は不明
- ・ガントリークレーンのレールに歪みがあり、油漏れが発生し、使えない状況
- ・岸壁付近は一部に液状化、陥没しており荷役ができない状況
- ・3段積みのコンテナが倒れてはいないが、ズレが生じている
- ・当分の間、八代港は抜港されるとみられるため荷役はない
- ・家屋が全壊した社員もあり、ギャングが組めるか不透明
- ・事務所が停電、断水している
- ・アンローダー2機のうち1機がレールから脱輪
- ・出荷ラインは今日(7/30)から再開しているが、荷揚げに関しては岸壁が被害を受けており再開時期は未定
- ・荷主が日本製紙メインのため、日本製紙の八代工場が被災した関係で当面、荷役再開の目処が立たない
- ・ベルトコンベアの修理を、8月4～5日の間で補修予定
- ・地震発生時、陸揚げ中の貨物(飼料用トウモロコシ1000トン)は作業を中止し、鹿児島(谷山港)での陸揚げとなった。停泊中の船舶に被害なし。

コンテナ航路の状況

- ・八代港に寄港する国際コンテナ航路のうち、プサン航路(7月29日、7月31日寄港)の2便は抜港、台湾航路便は当面の間、寄港取りやめを決定。
- ・内航コンテナ船は当面の間、寄港取りやめ。

※九州地方港運協会、八代港運協会へ被害情報の共有を依頼。

○旅客船関係(被害報告:2事業者のみ)

- ・熊本フェリー(株)

7月30日の運航再開時に車両で乗下船する旅客に限定していた取扱いを変更し、徒歩旅客の代替経路として、車両乗降用可動橋を使用し8月1日より徒歩旅客の利用についても再開。

熊本港の人道橋の修繕については、施設管理者である熊本県へ対応を要請中。

(5) 観光関係

○宿泊施設(8月1日 13:00 現在)

注)余震が続いている状況で、八代市をはじめ避難指示を継続している地域が多く、被害全容の把握には時間を要する見込み。なお、各施設の修理については、完了までに時間がかかる見込み。

◆物的被害

【佐賀県】壁崩れ・ひび 1件

【長崎県】 壁崩れ・ひび 3 件

【熊本県】

- ・建物被害等により営業中止 5 件
- ・断水中 2 件
- ・ガス供給停止中 2 件
- ・壁崩れ・ひび 2 件
- ・エレベーター停止中 21 件
- ・立体駐車場使用不可 5 件

【鹿児島県】

- ・立体駐車場使用不可 1 件

○観光施設関係（8月1日 13：00現在）

《物的被害・人的被害》（第6回報告から変更なし）

- ・物的被害：【熊本県】熊本市 1 施設
- ・人的被害：なし

《休館情報のみ》熊本県 1 → 0 施設、長崎県 3 → 2 施設、宮崎県 2 → 0 施設

【熊本県】天草市 1 → 0 施設

【長崎県】島原市 3 → 2 施設

【宮崎県】高千穂町 2 → 0 施設